Web制作・データベース構築
ジェイ・システムデザイン

操作説明書

FS1001 Windows 版 Ver1.3.4

改訂履歴

Ver	年月日	記事・備考
1.0	2026/10/20	初版作成

目　　次

第 1 章 ご使用の前に ----------4
第 2 章 導入手順（インストール） ----------6
1. インストールの前に ----------6
2. インストールの手順 ----------7
3. 「Windows によって PC が保護されました」が表示されたとき ----------9
3-1 実行する手順（SmartScreen の画面） ----------9
3-2 ダウンロードのときに、ブラウザが警告を出す場合 ---------- 10
3-3 「実行」が出ない、または実行しても始まらない場合---------- 10
3-4 ウイルス対策ソフトが警告・削除する場合 ---------- 11
3-5 Windows 11 の「スマート アプリ コントロール」でブロックされる場合 ---------- 11
3-6 会社などの管理されたパソコンの場合---------- 11
4. 起動のしかた ---------- 12
5. 更新のしかた ---------- 12
6. アンインストール（削除）のしかた ---------- 12
第 3 章 FS1001 の操作---------- 13
1. 起動 ---------- 13
2. 画面の見かた ---------- 14
2-1 画面全体の見かた---------- 14
2-2 選択中の画面の見分けかた ---------- 15
3. フォルダの移動と選択---------- 16
3-1 フォルダを開く・戻る---------- 16
3-2 項目の選択 ---------- 16
3-3 並べ替えと列の幅---------- 16
3-4 隠しファイルの表示 ---------- 16
4. コピー・移動 ---------- 17
4-1 反対側の画面へコピー・移動する ---------- 17
4-2 進行状況の表示とキャンセル ---------- 17
4-3 切り取り・コピー・貼り付け ---------- 18
4-4 同じ名前の項目があるとき ---------- 18
5. 削除・名前の変更・新規フォルダ ---------- 19
5-1 削除 ---------- 19
5-2 名前の変更（1 つ） ---------- 19

5-3 新しいフォルダの作成 ---------- 19
6. 一括名前変更 ---------- 20
6-1 開きかた ---------- 20
6-2 各項目の説明 ---------- 21
6-3 マクロ一覧 ---------- 23
6-4 使用例 ---------- 25
7. タブ ---------- 26
7-1 タブの操作 ---------- 26
7-2 タブの名前 ---------- 26
7-3 タブが多いとき ---------- 26
7-4 前回のタブの再現 ---------- 27
8. 同期 ---------- 28
8-1 FS1001 で操作したとき ---------- 28
8-2 ほかのソフトで変更されたとき ---------- 28
8-3 自動同期の設定 ---------- 28
9. 設定・その他 ---------- 29
9-1 アイコンの表示 ---------- 29
9-2 設定が保存される場所 ---------- 29
9-3 バージョンとライセンスの確認 ---------- 29
10. ショートカットキー一覧 ---------- 30
第４章 困ったときは・使用条件 ---------- 31
1. 困ったときは ---------- 31
2. 使用許諾および免責事項 ---------- 32
3. サードパーティのソフトウェア ---------- 33
4. お問い合わせ先 ---------- 33

第1章 ご使用の前に

① **本ソフトの概要**

FS1001 は、フォルダとファイルの管理に特化した、Windows 用の 2 画面ファイラーです。左右の画面に、それぞれ複数のタブでフォルダを開き、一方のフォルダから、もう一方のフォルダへコピー・移動できます。

② **動作環境**

Windows 10 / Windows 11（64 ビット版）で使えます。動作の確認は Windows 11 で行っています。管理者権限は不要で、お使いのユーザーだけにインストールされます。

③ **ドラッグ＆ドロップには対応していません。**

うっかり別のフォルダへ落としてしまうなどのミスを防ぐための、意図した仕様です。コピーや移動は、確認の画面を挟んで実行されます（第 2 章 4 参照）。

【対処法】各画面の「右へコピー」「右へ移動」（左の画面は「左へ…」）のボタン、F5・F6 キー、または切り取り・コピー・貼り付け（Ctrl+X / C / V）を使います。

④ **コピー・移動・削除は、確認してから実行されます。**

実行する前に確認の画面が出ます。内容を確かめて「OK」を押してください。

⑤ **削除した項目は、ごみ箱へ移動します。**

ごみ箱から元に戻せます。ネットワークドライブなど、ごみ箱を使えない場所では、完全に削除される場合があります。

【対処法】削除の確認画面の文言で、ごみ箱へ移動するのか、完全に削除するのかを確かめてから「OK」を押します（第 2 章 5-1 参照）。

⑥ **「切り取り」は、貼り付けるまで元の場所に残ります。**

切り取った項目は、一覧で薄いグレーの文字になります。貼り付けると、移動が完了します。貼り付けなければ、元の項目は消えません。

⑦ **同じ名前の項目があるとき。**

コピー・移動先に同じ名前の項目があると、上書きするかを確認します。確認で「キャンセル」を選ぶと、全体が中止され、何も行われません（第 2 章 4-4 参照）。

⑧ **ほかのソフトでの変更は、すぐには反映されません。**

エクスプローラーなど、ほかのソフトでの変更は、FS1001 の一覧には自動で反映されません。FS1001 での操作は、終わった時点で、自動的に最新になります。

【対処法】「同期」ボタン（Ctrl+R）を押します。または「自動同期」を使います（第 2 章 8 参照）。

⑨ **前回のドライブやフォルダが見つからないとき。**

ドライブが接続されていないタブは、名前の先頭に「⚠」が付き、赤字で表示されます。フォルダがなくなっている場合は、存在する上のフォルダが開きます。

【対処法】ドライブを接続したあとに「同期」を押すと、読み込まれます（第 2 章 7-4 参照）。

⑩ **署名がないため、警告が表示されることがあります。**

FS1001 のインストーラーには電子署名が付いていないため、「Windows によって PC が保護されました」などの警告が出ることがあります。ウイルスが見つかったという意味ではありません。

【対処法】第 3 章 3 の手順で、実行してください。

⑪ **大きなフォルダのコピー・移動には、時間がかかります。**

進行状況の画面が表示され、「キャンセル」で中止できます。移動は、すべてコピーできたときだけ元を削除します。キャンセルやエラーのときは、元の項目は残り、コピー先に途中までの分が残ることがあります（第 2 章 4-2 参照）。

【対処法】中止したあとは、コピー先のフォルダを確認し、不要な分を削除してください。

⑫ **通信は行いません。設定は、お使いのパソコンだけに保存されます。**

FS1001 はインターネット通信をしません。

前回のタブなどの設定は、「%APPDATA%¥FS1001¥settings.json」にだけ保存されます。

【対処法】設定を最初の状態に戻したいときは、FS1001 を終了して、このファイルを削除します。

⑬ **現状のまま提供しています。**

本ソフトは現状のまま提供しており、動作やデータについての保証はありません。詳しくは、第 4 章の「使用許諾および免責事項」をご覧ください。

【対処法】大切なデータは、事前にバックアップを取り、まず試験用のフォルダで動作を確かめてからお使いください。

第2章 導入手順（インストール）

1. インストールの前に

① FS1001_Setup.exe（インストーラー）を用意します。

② 管理者権限は要りません。会社などのパソコンで、ソフトの追加が制限されている場合は、管理者にご相談ください。

③ 以前の名前「PyFiler」が入っている場合は、インストーラーが確認のうえ削除し、設定を引き継ぎます。

④ 更新のときは、FS1001 を終了してから、インストーラーを実行します。

2. インストールの手順

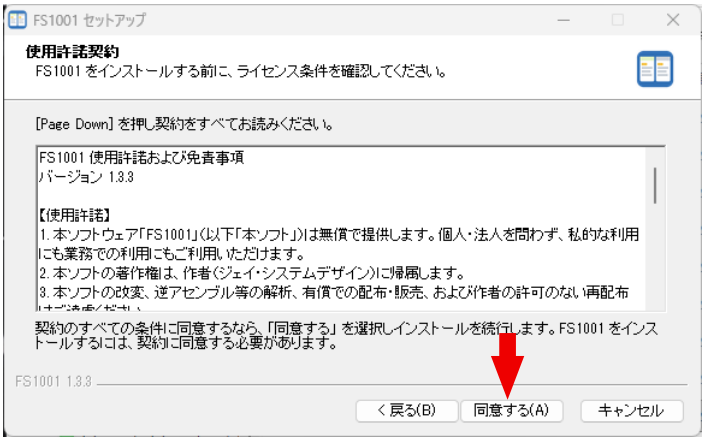
① FS1001_Setup.exe をダブルクリックします。

「Windows によって PC が保護されました」と表示された場合は、「3」の手順で進めてください。

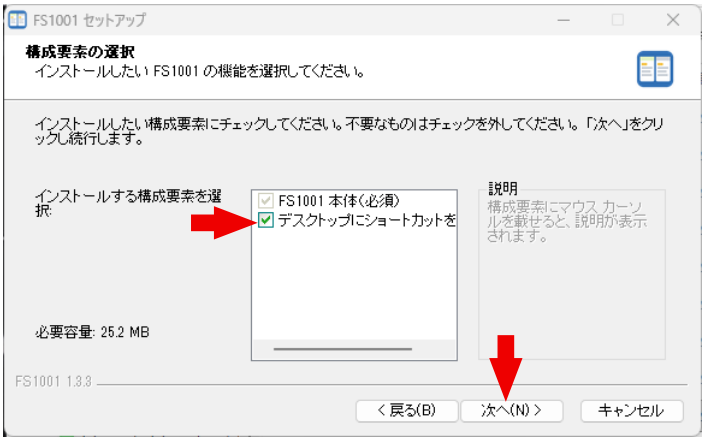
② 最初の画面で「次へ」を押します。



③ 「使用許諾および免責事項」を読み、「同意する」を押します。



④ インストールするものを選びます。「デスクトップにショートカットを作成」は、必要に応じてチェックを付け外しします。「次へ」を押します。



⑤　インストール先を確認します。通常は変更せず、「インストール」を押します。
（既定：C:¥Users¥（ユーザー名）¥AppData¥Local¥Programs¥FS1001）



⑥　インストールが終わったら、「FS1001 を起動する」にチェックを入れたまま、「完了」を押します。



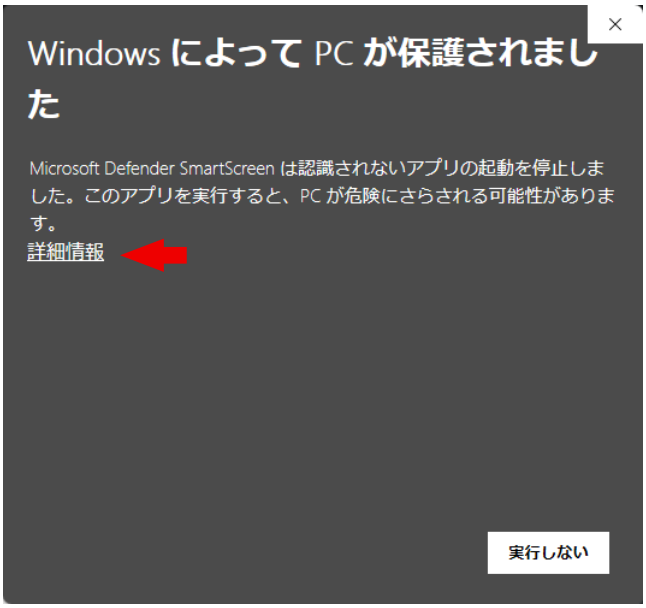
3.「Windows によって PC が保護されました」が表示されたとき

FS1001 のインストーラーには、電子署名（発行元の証明）が付いていません。このため、Windows は「初めて見るソフト」として、実行してよいかを確認する画面を出します。ウイルスが見つかったという意味ではありません。配布元が信頼できる場合は、次の手順で実行できます。

3-1 実行する手順（SmartScreen の画面）

① 「Windows によって PC が保護されました」の画面が出たら、文章の下にある「詳細情報」をクリックします。（この時点では、「実行しない」しか見えません。）

② 「詳細情報」を押すと、アプリ名（FS1001_Setup.exe）と、発行元（不明な発行元）が表示され、「実行」ボタンが現れます。



③ 「実行」を押します。インストーラーが始まります。



3-2 ダウンロードのときに、ブラウザが警告を出す場合

Edge や Chrome で、ダウンロード中に「一般的にダウンロードされていません」「安全にダウンロードできません」などと表示されることがあります。

① ダウンロードの一覧にある、ファイル名の右側の「…」（その他のオプション）を開き、「保持する」を選びます。

② さらに確認が出たら、「詳細を表示」→「保持する」を選びます。

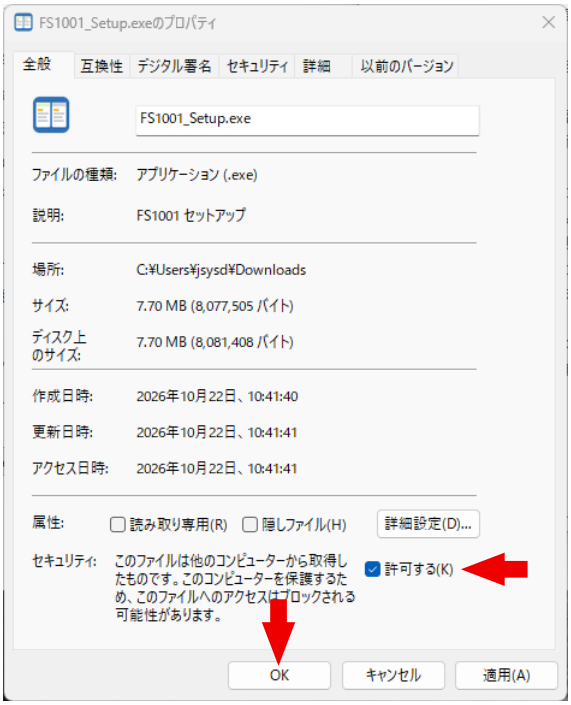
【注意】表示の文言は、ブラウザによって異なります。

3-3 「実行」が出ない、または実行しても始まらない場合

ダウンロードしたファイルに、「ブロック」の印が付いていることがあります。次の手順で解除できます。

① FS1001_Setup.exe を右クリックして、「プロパティ」を選びます。

② 「全般」タブの下のほうにある、「セキュリティ」の欄で、「許可する」にチェックを入れて、「OK」を押します。



③ 改めて FS1001_Setup.exe をダブルクリックします。

3-4 ウイルス対策ソフトが警告・削除する場合

① 署名のないソフトは、ウイルス対策ソフトが警告を出すことがあります。

② 配布元が信頼できる場合は、ソフトの「許可」「除外」の機能で、FS1001_Setup.exe（およびインストール先のフォルダ）を許可してください。操作方法は、お使いのソフトの説明書をご覧ください。

③ すでに隔離（検疫）されている場合は、隔離の一覧から「復元」して、許可の設定をしたうえで、もう一度実行します。

3-5 Windows 11 の「スマート アプリ コントロール」でブロックされる場合

Windows 11 の一部のパソコンでは、「スマート アプリ コントロール」が「オン」になっていると、署名のないソフトは、「実行」ボタンが出ずにブロックされることがあります。

① 「スタート」→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「Windows セキュリティ」→「アプリとブラウザ コントロール」を開きます。

② 「スマート アプリ コントロールの設定」を開き、状態を確認します。

③ 下の注意をご理解のうえで、必要な場合に限り、「オフ」を選びます。

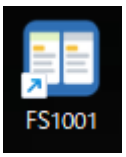
> **【注意】**「スマート アプリ コントロール」を「オフ」にすると、あとから「オン」に戻せません（Windowsの再インストールが必要になります）。会社のパソコンの場合は、設定を変えずに、管理者にご相談ください。

3-6 会社などの管理されたパソコンの場合

管理者の設定により、署名のないソフトの実行が禁止されていることがあります。この場合は、利用者側では解除できません。管理者にご相談ください。

4. 起動のしかた

① デスクトップの「FS1001」アイコンをダブルクリックします。



② デスクトップのショートカットを作らなかった場合は、「スタート」メニューの「FS1001」から起動します。



5. 更新のしかた

① FS1001 を終了します。

② 新しい FS1001_Setup.exe を実行します。(「2 インストールの手順」と同じです。)

③ 上書きインストールされます。前回開いていたタブなどの設定は、そのまま引き継がれます。

6. アンインストール（削除）のしかた

① FS1001 を終了します。

② 「スタート」→「設定」→「アプリ」→「インストールされているアプリ」を開きます。

③ 一覧から「FS1001」を探し、右側の「…」から「アンインストール」を選びます。画面の案内に従って進めます。

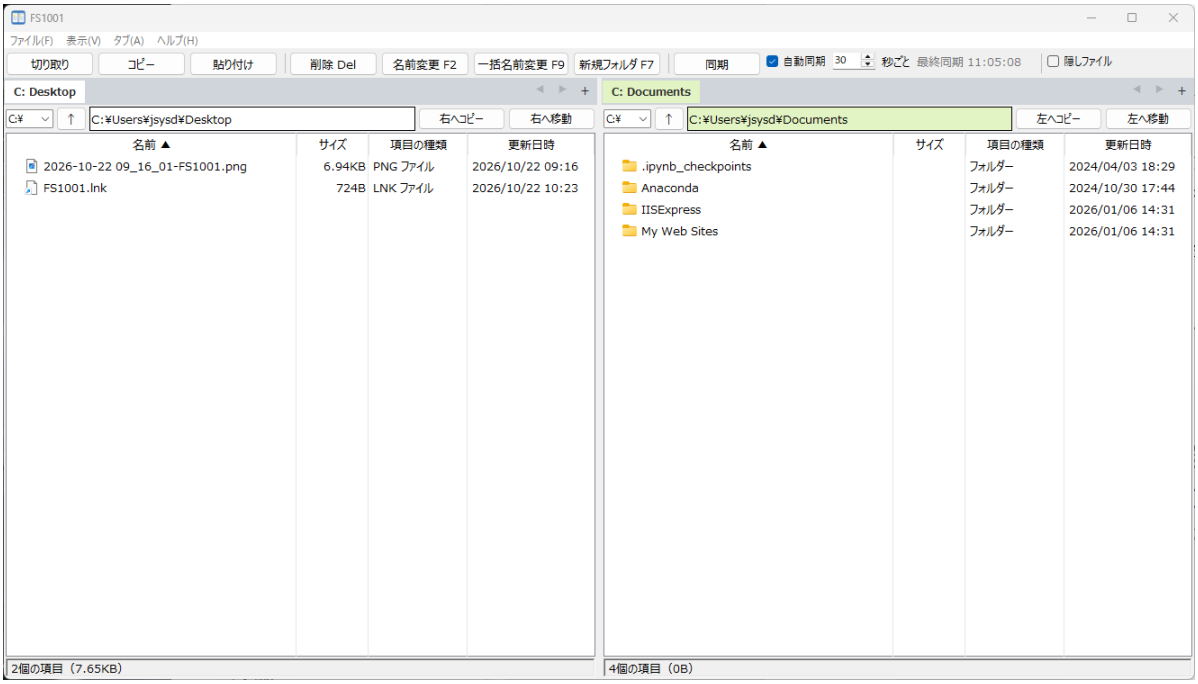
> **【注意】**スタートメニューの「FS1001 のアンインストール」からも削除できます。設定ファイル（%APPDATA%¥FS1001¥settings.json）は、アンインストールしても残ります。完全に消したい場合は、このフォルダを手動で削除してください。

第3章 FS1001 の操作

1. 起動

① デスクトップの「FS1001」アイコンをダブルクリックします。
デスクトップにショートカットを作らなかった場合は、スタートメニューの「FS1001」から起動します。

② 画面が開きます。前回開いていたタブが、そのまま表示されます。

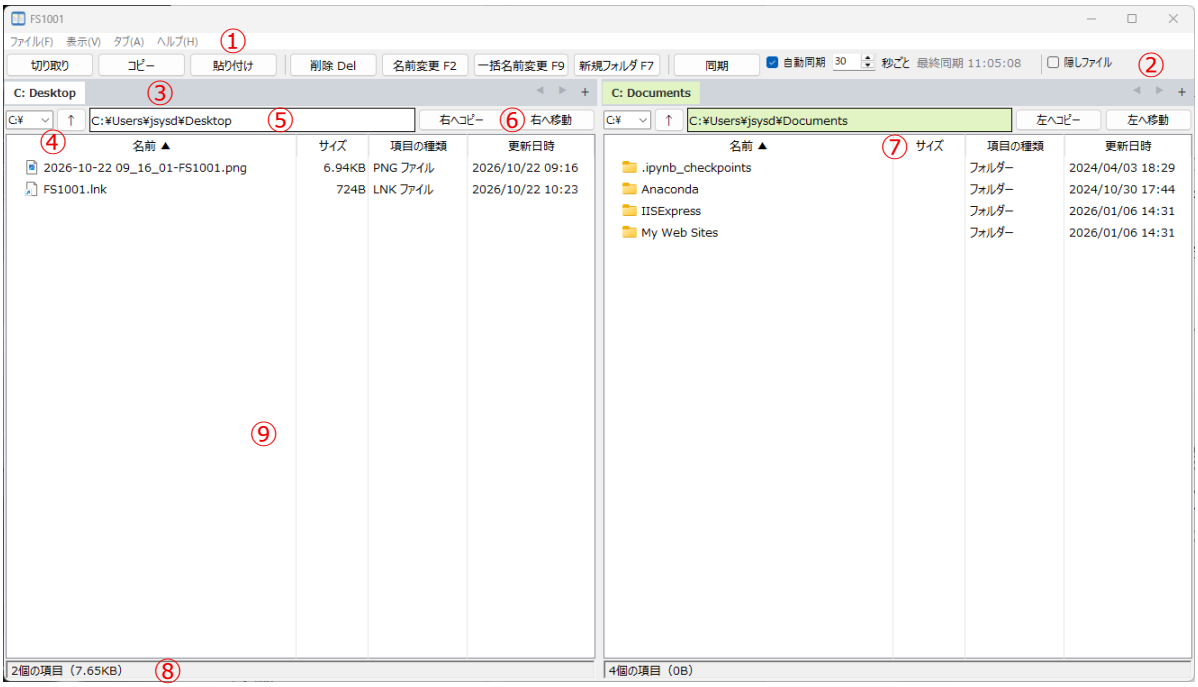


③ 終了するときは、画面右上の「×」、または「ファイル → 終了」を選びます。
終了するときに開いていたタブが記録され、次回に再現されます。

2. 画面の見かた

2-1 画面全体の見かた

画面は、左右 2 つの画面と、上部のメニュー・ツールバーでできています。



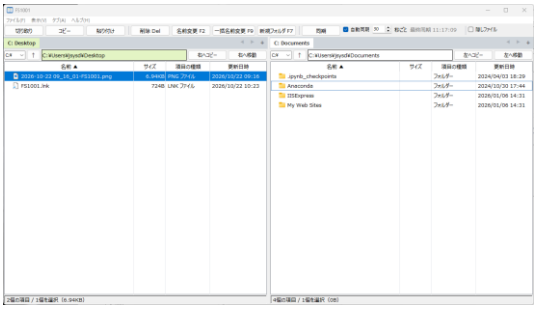
番号	名称	説明
①	メニューバー	「ファイル」「表示」「タブ」「ヘルプ」のメニューです。
②	ツールバー	切り取り・コピー・貼り付け、削除、名前変更、一括名前変更、新規フォルダ、同期、自動同期、隠しファイルのボタンです。幅が足りないときは、次の行に折り返して表示されます。
③	タブバー	タブ（開いているフォルダ）が並びます。「◀ ▶」でタブの順番を入れ替え、「＋」でタブを追加します。タブが多いときは、2 段以上に折り返します。
④	ドライブ選択・↑	ドライブを選びます。「↑」は、一つ上のフォルダへ移動します。
⑤	パス欄	開いているフォルダの場所です。直接入力して Enter を押すと、その場所へ移動します。
⑥	右へ／左へ コピー・移動	選んだ項目を、反対側の画面（表示中のタブ）へコピー、または移動します。
⑦	一覧	名前・サイズ・項目の種類・更新日時が並びます。見出しをクリックして並べ替えられます。
⑧	ステータス	項目の数と、選んでいる数・合計サイズを表示します。エラーのときは赤字で表示します。
⑨	左右の画面	画面は左右の 2 つで、それぞれにタブがあります。

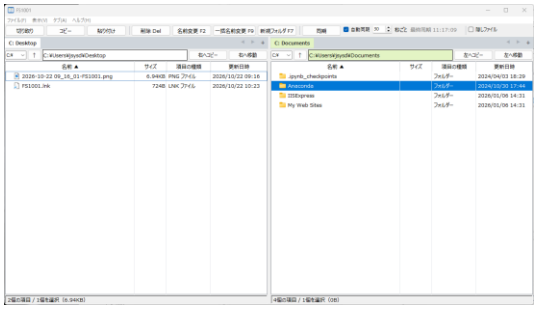
2-2 選択中の画面の見分けかた

いま操作の対象になっている画面は、パス欄が薄い緑色になり、選んだ項目が青く塗られます。反対側の画面は、パス欄が白で、選んだ項目は青い枠線だけで表示されます。

① 反対側の画面で選んでおいた項目は、枠線で残ります。その画面をクリックすると、また青く塗られます。

② Tab キーを押すと、左右の画面が切り替わります。





3. フォルダの移動と選択

3-1 フォルダを開く・戻る

やりたいこと	操作
フォルダを開く	フォルダをダブルクリック、または選んで Enter
一つ上のフォルダへ戻る	「↑」ボタン、または一覧で Backspace （戻ったあと、元のフォルダが選ばれた状態になります。）
場所を直接指定する	パス欄に場所を入力して Enter 例：D:¥資料¥2026
ドライブを変える	ドライブ選択欄から選ぶ
フォルダを新しいタブで開く	フォルダを選んで Ctrl+Enter

3-2 項目の選択

① クリック：1 つ選びます。

② Ctrl+クリック：選んだ項目に、1 つずつ追加・解除します。

③ Shift+クリック：選んだ位置から、クリックした位置まで、まとめて選びます。

> **【注意】**Ctrl+A（すべて選択）は使えません。すべて選びたいときは、先頭の項目を選んで、最後の項目を Shift+クリックします。

3-3 並べ替えと列の幅

① 見出し（名前・サイズ・項目の種類・更新日時）をクリックすると、その順に並びます。もう一度押すと、昇順・降順が入れ替わります。（▲▼で表示されます。）

② フォルダは、常にファイルより上に並びます。

③ 見出しの境目をドラッグすると、列の幅を変えられます。

3-4 隠しファイルの表示

ツールバーの「隠しファイル」にチェックを入れるか、Ctrl+H を押すと、隠しファイルが表示されます。もう一度で、非表示に戻ります。

4. コピー・移動

4-1 反対側の画面へコピー・移動する

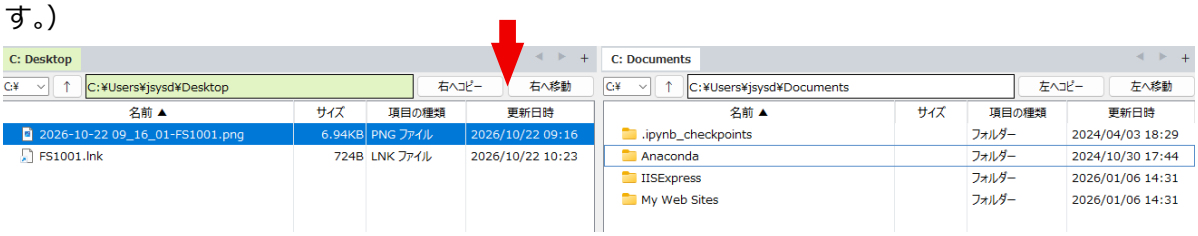
左右の画面を使って、一方のフォルダから、もう一方のフォルダへコピー・移動します。

① コピー・移動したい項目を選びます。（複数も選べます。）

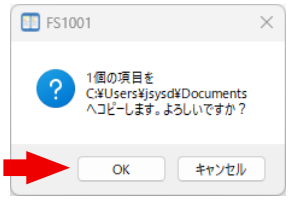
② 反対側の画面で、コピー・移動先のフォルダを開いておきます。

③ 選んだ画面のパス欄の右にある、「右へコピー」または「右へ移動」を押します。

（右の画面では、「左へコピー」「左へ移動」です。キーボードでは、コピーが F5、移動が F6 です。）



④ 確認の画面で、内容を確かめて「OK」を押します。



【注意】コピー・移動の先は、反対側の画面で「表示中のタブ」のフォルダです。左右で同じフォルダを開いているときは、「左右で同じフォルダが開かれています」と表示され、実行されません。

【注意】同じドライブの中での「移動」は、名前を付け替えるだけなので、一瞬で終わります。

4-2 進行状況の表示とキャンセル

コピー・移動に時間がかかる（約 0.5 秒を超える）ときは、進行状況の画面が表示されます。

① いま処理しているファイル名、進み具合（%と進捗バー）、処理した個数とサイズ、速度と残りの時間の目安が表示されます。

② 途中でやめたいときは、「キャンセル」を押します。

・コピー先で、書きかけのファイルが残らないようにしています。

・移動は、すべてのコピーが成功したときだけ、元の項目を削除します。キャンセルやエラーのときは、元の項目は残ります。

・キャンセルしたときは、途中までコピーされた分が、コピー先に残ることがあります。

・処理中は、ほかのコピー・削除などの操作はできません。

4-3 切り取り・コピー・貼り付け

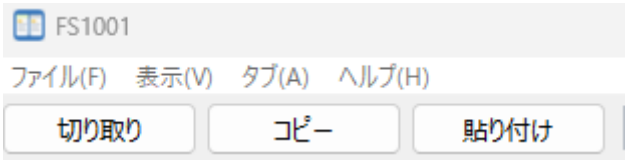
Windows のエクスプローラーと同じ感覚で、「切り取り」「コピー」「貼り付け」も使えます。

① 項目を選びます。

② ツールバーの「切り取り」または「コピー」を押します。(キーボードは Ctrl+X / Ctrl+C です。)

③ 貼り付け先のフォルダを、タブで開きます。

④ ツールバーの「貼り付け」を押します。(キーボードは Ctrl+V です。)



・「切り取り」をした項目は、貼り付けるまで、一覧で薄いグレーの文字になります。

・貼り付けは、選んでいる画面で、表示中のタブのフォルダが対象です。

・同じフォルダでコピーして貼り付けると、「名前 - コピー.xlsx」のような名前の複製ができます。もう一度貼り付けると、「名前 - コピー (2).xlsx」になります。

・エクスプローラーでコピーした項目を FS1001 に貼り付けたり、FS1001 でコピーした項目をエクスプローラーに貼り付けたりもできます。

4-4 同じ名前の項目があるとき

コピー・移動先に、同じ名前の項目があるときは、確認の画面が出ます。

ボタン	動作
はい	その項目を上書きします。
いいえ	その項目は飛ばして、次の項目へ進みます。
キャンセル	全体を中止します。(何もコピー・移動されません。)

5. 削除・名前の変更・新規フォルダ

5-1 削除

① 削除したい項目を選びます。

② ツールバーの「削除」を押すか、Del キーを押します。

③ 確認の画面で「OK」を押します。

> **【注意】**削除した項目は、ごみ箱へ移動します。ごみ箱から元に戻せます。ネットワークドライブなど、ごみ箱を使えない場所では、完全に削除される場合があります。確認の画面の文言で、ごみ箱へ移動するのか、完全に削除するのかが分かります。

5-2 名前の変更（1 つ）

① 名前を変える項目を選びます。

② 「名前変更」を押すか、F2 を押します。

③ 表示された入力欄に、新しい名前を入力して「OK」（または Enter）を押します。



> **【注意】**名前に使えない文字（¥ / : * ? " < > |）や、同じ名前の項目があるときは、変更できません。

5-3 新しいフォルダの作成

① 「新規フォルダ」を押すか、F7 を押します。

② フォルダの名前を入力して「OK」を押します。

作成されたフォルダは、選んでいる画面で、表示中のタブの場所に作られます。

6. 一括名前変更

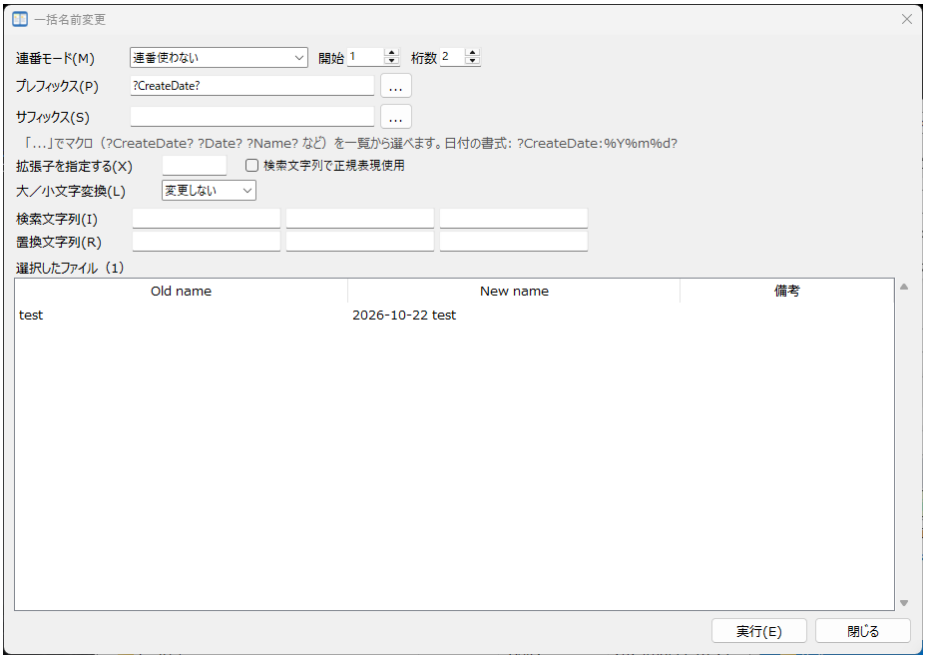
複数（1 つでも可）のファイル名（フォルダ名も可）を、ルールに従って、一度に変更します。結果は、実行前にプレビューで確認できます。

6-1 開きかた

① 名前を変えるファイルを、複数選びます。

② ツールバーの「一括名前変更」を押すか、F9 を押します。

6-2 各項目の説明



項目	説明
連番モード	「連番使わない」「プレフィックスの後ろに連番」「サフィックスの前に連番」から選びます。「開始」は最初の番号、「桁数」は 001 のような桁の数です。
プレフィックス	ファイル名の先頭に付ける文字です。マクロ（日付など）も使えます。
サフィックス	ファイル名の最後（拡張子の前）に付ける文字です。マクロも使えます。
「...」ボタン	マクロの一覧を開きます。説明を見ながら選んで、入力欄のカーソルの位置に挿入できます。
拡張子を指定する	拡張子を、指定したものに変えます。（例：txt）
検索文字列で正規表現使用	チェックを入れると、検索文字列を正規表現として扱います。
大／小文字変換	「変更しない」「大文字」「小文字」から選びます。（拡張子は対象外です。）
検索文字列／置換文字列	3 組まで指定できます。ファイル名の中の「検索文字列」を「置換文字列」に置き換えます。置換文字列を空にすると、その文字を削除できます。
プレビュー	「Old name（変更前）」「New name（変更後）」を並べて表示します。入力するたびに、すぐ更新されます。
実行	プレビューのとおりに、名前を変更します。

名前の変更は、次の順で行われます。

① 検索と置換

② 大文字・小文字の変換

③ プレフィックス・連番・サフィックスの追加

④ 拡張子の変更

【注意】次の場合は、プレビューに赤字で理由が表示され、「実行」を押せません。

・変更後の名前が、ほかのファイルと重複する

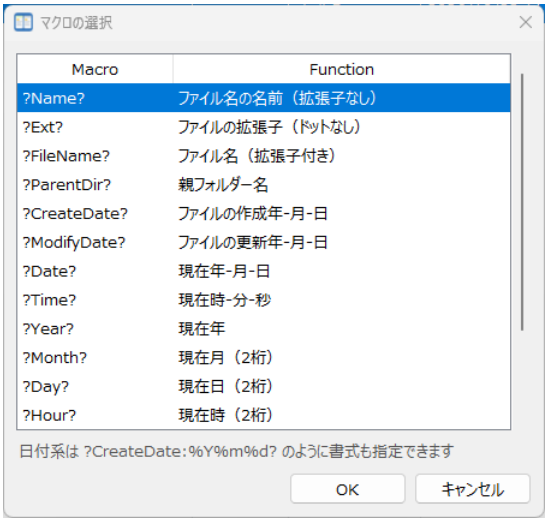
・同じ場所に、同名の項目がすでにある

・名前に使えない文字が含まれる

・名前が空になる

6-3 マクロ一覧

プレフィックスとサフィックスには、次のマクロを使えます。「...」ボタンから選ぶと、そのまま挿入されます。



マクロ	内容	例
?Name?	ファイル名の名前（拡張子なし）	勤怠_0
?Ext?	ファイルの拡張子（ドットなし）	xlsm
?FileName?	ファイル名（拡張子付き）	勤怠_0.xlsm
?ParentDir?	親フォルダ名	受講中
?CreateDate?	ファイルの作成日（年-月-日）	2026-10-13
?ModifyDate?	ファイルの更新日（年-月-日）	2026-10-12
?Date?	現在の日付（年-月-日）	2026-10-20
?Time?	現在の時刻（時-分-秒）	15-05-09
?Year? ?Month? ?Day?	現在の年・月・日（月と日は 2 桁）	2026 ・ 10 ・ 20
?Hour? ?Minute? ?Second?	現在の時・分・秒（2 桁）	15 ・ 05 ・ 09
?Week?	現在の曜日（短）	火
?WeekLong?	現在の曜日（長）	火曜日

日付と時刻のマクロは、書式も指定できます。マクロの名前のあとに「:」と書式を続けます。

書式の例	結果
?Date:%Y%m%d?	20261020
?CreateDate:%Y 年%m 月?	2026 年 10 月
?Time:%H%M?	1505

【注意】ファイル名には「:」が使えないため、?Time? は「15-05-09」のように、「-」で区切った形式で表示されます。

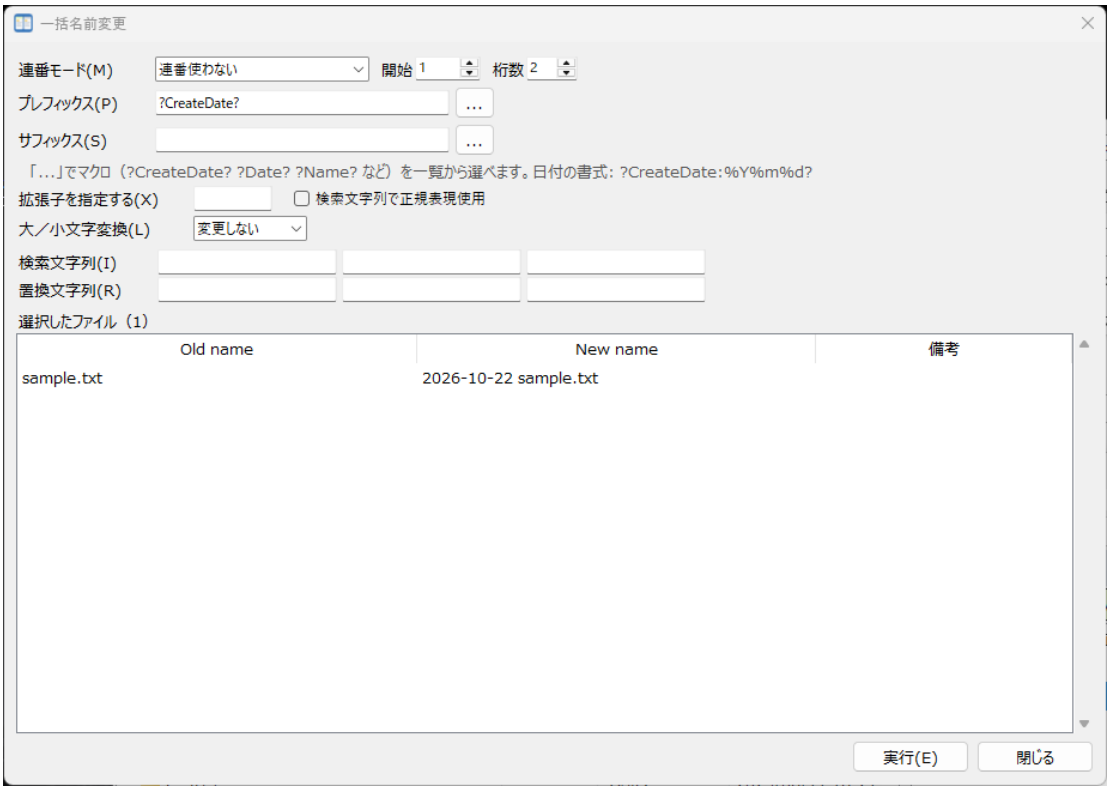
6-4 使用例

よく使う設定の例です。

① 【例 1】ファイル名の先頭に、作成日を付ける

プレフィックスに「?CreateDate?」と半角スペースを入力します。

sample.txt → 2026-10-13 sample.txt



② 【例 2】「 のコピー」を取り除く

検索文字列（1 つ目）に「 のコピー」（先頭に半角スペース）を入力し、置換文字列は空のままにします。

sample2 のコピー.xlsm → sample.xlsm

③ 【例 3】連番を付ける

連番モードを「プレフィックスの後ろに連番」、開始を 1、桁数を 3、プレフィックスを「img_」にします。

写真 A.jpg → img_001 写真 A.jpg ／ 写真 B.jpg → img_002 写真 B.jpg

④ 【例 4】拡張子を変えて、小文字にそろえる

拡張子を指定する欄に「txt」、大／小文字変換を「小文字」にします。

MEMO.DOC → memo.txt

7. タブ

左右の画面それぞれに、複数のタブを開けます。フォルダごとにタブを分けておくと、行き来が楽になります。

7-1 タブの操作



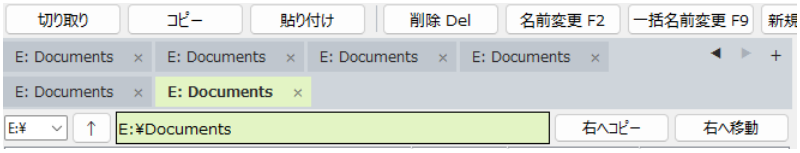
やりたいこと	操作
新しいタブを追加	タブバー右端の「＋」、または Ctrl+T （いま開いているフォルダを複製したタブが、右隣に追加されます。）
フォルダを新しいタブで開く	フォルダを選んで Ctrl+Enter
タブを切り替える	タブをクリック、または Ctrl+Tab（前へは Ctrl+Shift+Tab）
タブを閉じる	タブの「×」、タブを中クリック、または Ctrl+W（最後の 1 つは閉じられません。）
タブの順番を入れ替える	タブバー右端の「◀」「▶」（表示中のタブが、1 つずつ左右へ動きます。端では薄い色になります。） キーボードは Ctrl+Shift+PageUp / PageDown

7-2 タブの名前

タブの名前は、「ドライブ名 フォルダ名」の形で表示されます。（例：「V: Documents」「E: 01 受講中」）異なるドライブにある、同じ名前のフォルダでも、見分けられます。ドライブの直下は、「C:¥」と表示されます。

7-3 タブが多いとき

タブが画面の幅に収まらないときは、2 段目、3 段目へと折り返して表示されます。「◀ ▶ ＋」は、1 段目の右端に表示されます。

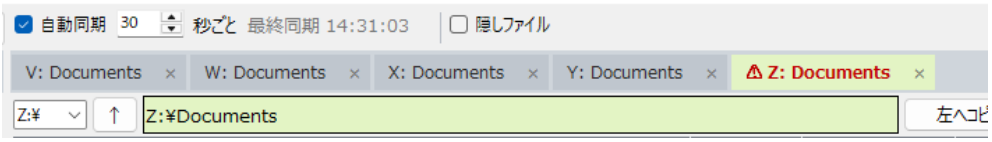


7-4 前回のタブの再現

FS1001 を終了するとき、開いていたタブ（フォルダと順番）と、表示していたタブを記録します。次に起動したときに、同じ状態で開き直します。

前回のドライブやフォルダが見つからないときは、次のように表示されます。

① ドライブが接続されていない場合：そのタブは残り、名前の先頭に「⚠」が付いて、赤字で表示されます。一覧は空で、ステータスに「ドライブ名 ： に接続できません」と赤字で表示されます。ドライブを接続したあとに「同期」を押すと、読み込まれます。



② フォルダがなくなっている場合：存在する、一番近い上のフォルダを開きます。ステータスに「元のフォルダが見つからないため、上のフォルダを開きました」と表示されます。

8. 同期

「同期」は、画面の一覧を、実際のフォルダの内容に合わせて、最新にする機能です。

8-1 FS1001 で操作したとき

FS1001 で、コピー・移動・貼り付け・削除・名前の変更などを行ったときは、終わった時点で、自動的に同期されます。何もする必要はありません。

8-2 ほかのソフトで変更されたとき

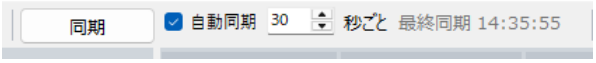
エクスプローラーや、ほかのソフトでファイルが変更されても、FS1001 は自動では気づけません。次のどちらかで、最新にします。

① 「同期」ボタン（または Ctrl+R）を押します。

② 「自動同期」を使います。

8-3 自動同期の設定

① ツールバーの「自動同期」にチェックを入れます。



② 右にある数字の欄に、同期する間隔を秒で入力します。（1～3600 秒。自由に変えられます。初期値は 10 秒です。）

・間隔を変えたときや、チェックを入れ直したときから、新しい間隔で動きます。

・一覧に変化がないときは、描き直しません。選んだ項目やスクロールの位置は、そのまま保たれます。

・コピー・移動の実行中や、ダイアログの表示中は、自動同期を見送ります。

・ツールバーの右側に、「最終同期 時:分:秒」が表示されます。

・自動同期の設定は、次回の起動時にも引き継がれます。（初期状態はオフです。）

> **【注意】**ネットワーク上のフォルダなど、読み込みに時間がかかる場所を開いている場合は、間隔を長めにしてください。

9. 設定・その他

9-1 アイコンの表示

メニューの「表示」で、一覧のアイコンを選べます。

① 「Windows のアイコンを使う」: エクスプローラーと同じ、ファイルの種類ごとのアイコンを表示します。（初期設定）

② 「簡易アイコンを使う」: FS1001 独自の、簡単なアイコンを表示します。

9-2 設定が保存される場所

前回のタブ、隠しファイルの表示、自動同期、ウィンドウの大きさなどの設定は、次のファイルに保存されます。

%APPDATA%¥FS1001¥settings.json

設定を最初の状態に戻したいときは、FS1001 を終了して、このファイルを削除してください。

9-3 バージョンとライセンスの確認

メニューの「ヘルプ」→「FS1001 について」で、バージョン、使用許諾・免責事項、サードパーティ（外部のソフト）のライセンスを確認できます。



10. ショートカットキー一覧

操作	キー
左右の画面を切り替える	Tab
開く（フォルダ・ファイル）	Enter、ダブルクリック
一つ上のフォルダへ	Backspace
反対側へコピー	F5
反対側へ移動	F6
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
削除（ごみ箱へ）	Del
名前の変更	F2
新規フォルダ	F7
一括名前変更	F9
同期（最新の情報に更新）	Ctrl+R
隠しファイルの表示／非表示	Ctrl+H
新しいタブ	Ctrl+T
選んだフォルダを新しいタブで開く	Ctrl+Enter
タブを閉じる	Ctrl+W
次のタブ／前のタブ	Ctrl+Tab ／ Ctrl+Shift+Tab
タブを左へ／右へ移動	Ctrl+Shift+PageUp ／ Ctrl+Shift+PageDown

【注意】一覧にカーソルがある状態での操作です。パス欄に文字を入力しているときは、文字入力が優先されます。

第4章 困ったときは・使用条件

1. 困ったときは

症状	原因と対処
インストーラーが起動しない／「Windows によって PC が保護されました」と出る	第 3 章 3 をご覧ください。「詳細情報」→「実行」で進められます。
前回のタブに「⚠」が付いて、赤字になっている	ドライブ（ネットワークドライブや USB など）が接続されていません。接続したあとに「同期」を押してください。
前回のフォルダと違う場所が開いた	元のフォルダがなくなっているため、上のフォルダを開いています。ステータスの表示をご確認ください。
ステータスに「応答がありません」と出る	ネットワーク上のフォルダに、つながっていません。接続を確認して、「同期」を押してください。
一覧が最新の内容にならない	ほかのソフトでの変更は、自動では反映されません。「同期」を押すか、「自動同期」を使ってください。
コピーが遅い／止まったように見える	大きなファイルや、ネットワーク上のコピーは、時間がかかります。進行状況の画面で、進み具合を確認できます。やめたいときは「キャンセル」を押してください。
ドラッグ＆ドロップでコピーできない	誤操作を防ぐため、対応していません。「右へコピー」などのボタン、またはキーで実行してください。
削除したファイルが、ごみ箱にない	ネットワークドライブなどでは、ごみ箱を使えず、完全に削除される場合があります。削除の確認画面の文言をご確認ください。
「コピー／移動の実行中です。終わるまでお待ちください。」と出る	コピー・移動の途中です。終わるまで、または「キャンセル」で中止するまで、お待ちください。
上書きインストールできない	FS1001 が起動したままです。終了してから、もう一度インストーラーを実行してください。
アイコンが古いまま・表示が変わらない	Windows のアイコンのキャッシュが古い可能性があります。パソコンの再起動をお試しください。
設定を最初の状態に戻したい	FS1001 を終了して、%APPDATA%¥FS1001¥settings.json を削除してください。

2. 使用許諾および免責事項

FS1001 使用許諾および免責事項

バージョン 1.3.2

【使用許諾】

1. 本ソフトウェア「FS1001」（以下「本ソフト」）は無償で提供します。個人・法人を問わず、私的な利用にも業務での利用にもご利用いただけます。
2. 本ソフトの著作権は、作者（ジェイ・システムデザイン）に帰属します。
3. 本ソフトの改変、逆アセンブル等の解析、有償での配布・販売、および作者の許可のない再配布はご遠慮ください。
4. 本ソフトには、第三者が著作権を有するソフトウェアが含まれています。それらは、それぞれのライセンスに従います（「サードパーティのライセンス」を参照）。

【免責事項】

1. 本ソフトは「現状のまま」で提供されます。動作、品質、特定の目的への適合性、不具合がないことなど、明示・黙示を問わず、いかなる保証もいたしません。
2. 本ソフトは、ファイルやフォルダのコピー、移動、削除、名前の変更を行います。操作の誤りや不具合などにより、データが失われたり、意図しない内容に変更されたりする場合があります。大切なデータは、事前にバックアップを取り、まずは試験用のフォルダで動作をご確認ください。
3. 本ソフトを使用したこと、または使用できなかったことにより生じた、データの損失、業務の中断、その他一切の損害について、作者は、原因のいかんを問わず、責任を負いません。ただし、法令により免責が認められない場合を除きます。
4. 本ソフトの内容や仕様は、予告なく変更したり、提供を終了したりすることがあります。
5. 本ソフトをインストールまたは使用した時点で、上記の内容に同意したものとみなします。

【プライバシー】

本ソフトは、インターネット通信を行いません。設定（前回開いていたフォルダ、タブの状態など）は、お使いのパソコンの次の場所にのみ保存されます。

%APPDATA%¥FS1001¥settings.json

3. サードパーティのソフトウェア

FS1001 には、次のソフトウェアが含まれています。それぞれのライセンスの全文は、インストール先の「licenses」フォルダにある THIRD_PARTY_NOTICES.txt、およびヘルプ →「FS1001 について」で確認できます。

ソフトウェア	ライセンス
Python 3.12	Python Software Foundation License
Tcl/Tk 8.6（画面表示）	Tcl/Tk License（BSD 系）
send2trash（ごみ箱への移動）	BSD 3-Clause License
PyInstaller（実行ファイルの作成）	GPL v2 以降 + 実行ファイルの配布に関する例外
Microsoft Visual C++ ランタイム	Microsoft の再頒布の条件

4. お問い合わせ先

ジェイ・システムデザイン　info@jsysd.biz

ご質問の際は、FS1001 のバージョン（ヘルプ →「FS1001 について」で確認できます）と、症状、画面の画像をお知らせください。

操作説明書

FS1001 Windows 版 Ver1.3.4

JSystem Design Web制作・データベース構築 ジェイ・システムデザイン